

右の事柄は平時に於る道路の軍事的價值を言ふ事とは直接に縁が遠いのであるが自動車道路とは互に因り果りなつて發達するのであるから道路の改善を促進する見地から述べたのである。

### 三 結 言

平時に於ける道路の軍事的價值は大要前述の如くであるが要するに國家が諸般の施設を講ずるに方つては國利民福を考ふることは固より必要であるけれども國防は決して忽せにやらぬ事は之れが爲國家が年々莫大な國費を支出して居るのを見ても各位の十分御諒解のこころ、思ふが軍事上の施設に就ては相當に考慮して貰ひ度いものである。

## 吾が路政の回顧と産業道路の助成

内務書記官 丹 波 七 郎

我國の道路行政は大正八年の道路法の制定に依つて其の法制的基礎を築き同年道路會議を起して樹立せられたる二億八千萬圓の道路改良計畫に依つて其の經濟的實力を獲得したのである。爾來早くも八年を経過した若し此の改良計畫が障害なく實行せられたならば已に大なる成績を挙げ

得たであらう。然るに大正十二年關東の震災及其後の行財政整理の爲め國の豫算額は著しく削減せられた。所謂二億八千萬圓計畫なるものは此金額を以て大正九年度以降三十年間に軍事國道約七十里國道約二千里軍事關係府縣道約四百里及六大都市の街路の改良を補助するを主たる目的としたものである、而して此が年度割と昭和二年度迄の實際の豫算額とを對比すれば次の様になる。

(單位千圓)

道路改良費 豫定額 同額上 實際豫算額	大正九年度	大正十年度	大正十一年度	大正十二年度	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	昭和元年度	昭和二年度	昭和三年度以降 同二十四年度
		二,五〇〇	四,三〇〇	七,〇〇〇	九,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
	二,五〇〇	四,三〇〇	七,〇〇〇	九,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇

最近數年は豫定額の三割五分に過ぎざる三百五十萬圓を維持するに過ぎなかつた。此の道路改良費に依つて助成せられたる道路工事の延長は次の如くである。

道路改良費の助成に依る道路工事調(昭和二年六月現在)

國道 隧道 橋梁 道路	區別		計	
	里	町	里	町
	二	二	二	二
	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
	五五	五五	五五	五五
	七五	七五	七五	七五
	四八	四八	四八	四八
	一五	一五	一五	一五
	二	二	二	二
	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
	五五	五五	五五	五五
	七五	七五	七五	七五
	四八	四八	四八	四八
	一五	一五	一五	一五
	二	二	二	二
	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
	五五	五五	五五	五五
	七五	七五	七五	七五
	四八	四八	四八	四八
	一五	一五	一五	一五
	三三	三三	三三	三三
	二五	二五	二五	二五

街路	合計	府縣道		一計
		橋梁	道路	
東京市、京都市、大阪市、横浜市、神戸市、名古屋市、古屋市、街路改良事業ノ一部	二六	三	三	二三
	三二	一三	七	一九
東京市街路改良事業ノ一部	五一、二三	四三、九	三九、八	七、三三
	七一	一三	一三	五七
東京市街路改良事業ノ一部	六	二三	二三	一九
	三七、八	一三	一三	二四、八
	九八	一七	一六	八一
	三	〇	三〇	二
	二九、三	五六、九	五二、八	三二、一三

備考 ×印ハ軍事國道ヲ示ス

是に依つて數字的に見た成績は極めて僅少であること云はねばならぬ。唯此數字を見るに付ては今日迄の改良は主として京濱阪神兩國道を初め長大なる鐵橋の架設や六大都市内の街路の擴築鋪裝等最も巨費を要する部分が先づ施行せられた爲めに斯くの如く延長に於て少いのであること云ふことを注意して置かねばならぬ。又此等の工事は全國各地に改良道路の範を示し、一般人に道路改良の効果を體驗せしめたる點に於ては頗る大なる効果を收めておるのである。

併し何れにしても當初の意氣込に比しては其の成績極めて微々たり云ふの外はない様である。斯くの如く道路改良計畫は財政的に全く行詰りなつた。此の局面を打開せねばならぬことは交通の實際が力強く叫んで居る。茲に於て貴賤貧富の別なく消費者たること生産者たることに論なく一致

渴望する所の道路改良は昭和新政の一端として劃期的進轉を實現せねばならぬのである。道路改良が今日世界的に盛なるは固より自動車の發達に促されたものである。我國の自動車數はまだ左迄多くはないが其の増加の趨勢の顯著なることは左表で明かである。

第九 自動車發達の趨勢

種別	年度	
	大正八年末現在	現
乗用	六,三四五 <small>臺</small>	一一,七四八 <small>臺</small>
荷物用	七〇六	三,一三八
計	七,〇五一	一四,八八六
增加割合		二,一一一
		現
		大正十一年末
		在
		大正十二年末
		在
		大正十三年末
		在
		大正十四年末
		在

備考 增加割合ハ大正八年末現在數量ニ對スル割合ヲ示ス

此の大勢は今日世上に論議せらるゝ自動車對鐵道の問題を惹起し、鐵道は現在の惡道路に依る自動車運送に依りてさへも甚だしき脅威を感じること自白するに至つたのである。専門家の云ふ處に依るに我國今日の狀態に於ても少くとも三十哩場合に依りては五十哩迄は自動車輸送の方鐵道に依るものよりも經濟的に優る。米國に於ては既に百哩を越ゆる長距離運送に於ても自動車が

優れりとの經驗を得てをるのである。

今我國に於ける乗合自動車の現狀を見るに、

一定路線に依る自動車營業調

旅客自動車の分

種別・延長	企業者數	路線數	路線延長別營業哩數
一〇哩以下	一、〇四一	三、六八	一五、五五、五
一五哩	三五四	六四	七、七二、八
二〇哩	二四二	一七四	四、八九、一
二五哩	一四三	三〇	二、九五、四
三〇哩	九七	六八	一、九四、四
四〇哩	二二	二二	四、四一、二
五〇哩	七	三	一、六五、三
五〇哩以上	一四	六	四、七五、二
計	二、三〇〇	四、四二	四一、一六、九

貨物自動車の分

區別	企業者數	路線數	路線延長別營業哩數
一〇哩以下	二六	六五	三、六四、八
一五哩	九	二〇九	二、六七、八
二〇哩	七	一四	二、五六、九
二五哩	六	八	一、九六、八
三〇哩	五	五	一、四〇、二
四〇哩	五	七	二、〇七、三
五〇哩	三	三	一、一七、四
五〇哩以上	六	三	二、三三、一
計	一八一	一、三三	一七、六四、三

にして各企業多くは未だ小規模にして其營業哩數も小なり。雖も之を全體として見るときは營業哩約四萬四千哩に達し全國到る處に乘合自動車網を張りつゝあることを觀取するに難くないのである。

右の如くあるが故に或人達が鐵道は大幹線で道路に依る自動車運輸は其の附隨的のものである。云ふのは時勢の變遷に對する半可通の見解だ。云ふ可きで大なる修正を必要とするのである。長距離運輸に於ては鐵道が幹線であり。五十哩乃至百哩の短距離運輸に付ては自動車を通ずる道路が幹線なのである。兩者は相對立する交通機關として各々特長を有するのである。此の理を知らずして單に所謂小運送機關として自動車を見るが如き業は自動車運送を論ずる資格なきものである。我が路政當局が所謂自動車道路改良計畫を樹立したのは即ち道路に依る自動車運送の發達助成を期したからである。大正十四年鐵道の改良建設の論議世上に喧しきに際し自動車に依る道路運輸が鐵道の改良建設に對立する一大系統たるの可能性に鑑み時の土木局長岡隆一郎氏は部下を全國に派して府縣道中自動車運輸の必要上改良を要する幹線即ち自動車道路の改良計畫の調査に着手せしめたのである。今日産業道路の名の下に輿論の歡迎しつゝある道路改良計畫は即ち此時に種子を播かれたのである。

此の自動車道路改良助成計畫は財政緊縮の當時政府の納るゝ所はならなかつたけれども經濟的産業的見地より幹線道路は府縣道に雖も之を助成す可きである。云ふ新原則には敢て反對する者が無かつた。大正八年の道路改良計畫は國道の改良を主とし、府縣道の改良を助長するは僅か

に軍事上の關係あるものに限られた。即ち國家が府縣道の改良を助長するのは軍事上の必要に限られ經濟的產業的見地よりは全く地方の負擔に放任して置いたのである。大正十四年の自動車道路改良計畫案は產業的見地より自動車運送の幹線たるべきものを國家が助長せんとしたのである。

一體我國の道路行政は監督の方面に於ては至れり盡せりであるけれども、助成の方面に於ては甚だしく貧弱で又冷淡であつたのである。府縣道は勿論國道も府縣の負擔であつて大正八年の道路改良計畫に依りて僅かに助成せられて居た丈である。佛蘭西に於ては國道は全部國費の負擔である外縣道及地方道に補助を爲して居る。獨乙に於ても普魯西は其國道を州の負擔に委ねた。こゝ我國の國道と同様であるけれども、其際普魯西は一定の基金を州に下付したのである。尙地方道に補助して居る點は他國と異らない。英國の地方道路の助成に就ては既に本誌に於て詳細に説明した通りであつて諸國皆國道と云ふが如き軍事上行政上の見地に基く道路種別に限定することなく、經濟的見地より助成をしてゐるのである。我國に於ても道路改良の助成計畫は同様な改訂を要するのである。大正十四年の計畫案は即ち其精神に依るのである。こゝ勿論である。

斯く助成の範圍を擴張するに同時に從來行ひ來つた地方道路の監督は助成を必要とする地方の幹線に限定す可きである。國家が直接其の新設改築等に關與す可き範圍は其の工事の助長を必要とす可き地方の交通幹線に限るべきものである。言を換へて云へば今日の府縣道には階級が必要であり、中央政府の關與す可きものは其の最も重要なものに限る可きである。即ち大正十五年九月省令第六號を改正して道路の新設改築に付き内務大臣の認可を受く可きものは内務大臣自ら指定した

るものに限るゝした。是に依りて内務大臣の指定した道路は府縣道の總延長約二萬二千里の中約六千里であつて之を世間では指定府縣道と稱してゐる。路政當局が最近數年採り來つた態度は監督助成共に國道並に指定府縣道と稱する重要な地方幹線に限り。是が改良を完成して以て國內に於ける自動車に依る交通運輸の一大系統を確立するにあつた。監督を集約ならしむるの點は大正十五年の省令改正で其の目的を達することが出來たが。助成の擴張に付ては大正十四年の自動車道路改良計畫案が財政上容るゝ所ならなかつて以來未だ實現するに至らなかつたのである。

田中内閣成立して所謂産業立國の政策を採るや道路の改良は缺く可からざる一要施設として擧げられた。而して道路を改良するに國家が助成するゝすれば國道改良の助成と並んで重要府縣道即ち指定府縣道の改良を助成す可きである。故に指定府縣道約六千里の四分の一に當る千五百里を先づ以て十年間に改良するゝし國庫は府縣の負擔に對し其の三分の一を補助するの計畫を大樹立した。是計畫は容れられて産業道路助成費として二百萬圓を昭和三年度豫算案に計上するゝこととなつたのである。是に於て産業道路の改良は來年度より其實現の期に入るゝこととなつた。道路改良政策が大正八年確立して以來今日迄を道路改良の第一期とすれば今度の計畫は道路改良が第二期に入つたことを示すものである。

昭和三年度の道路改良費豫算案は右の産業道路改良の爲めの二百萬圓の外國道の改良其他從來及成し來りたる種類の費用に總計五百萬圓を振り當てて改良費全體として七百萬圓に増額されるゝこととなつた。此の額は地方實際の要求に對比するゝきは餘りに小額ではあるが從來の三百五

十萬圓に比すれば一躍倍加したのであつて大に喜ぶ可きことである。

自動車に依る道路運輸が鐵道と對立する陸上運輸の一大系統であることは曩に一言したのである。固より此の二つの系統は各其の特色を發揮するに同時に良く連絡提携するを要するのであるが道路政策の目標は此の自動車に依る陸上運輸の達成にある。此は歐米に於てさへ最近の經驗である。英國が自動車に對する一切の政策を道路局の決定に委ねておるのは彼國が如何に實際的であるかの一證左であると同時に道路改良と道路運輸行政とを統一したる好模範である。我國に於て自動車運輸の發達を目的としたるものが大正十四年の自動車道路改良計畫案であり、今回豫算に計上されたる産業道路改良計畫案である。此の計畫が實現するに伴つて自動車に依る道路運輸が益益鐵道と對立する其の特色を發揮し、道路が交通幹線として益々其の威力を示すことが來るのであらう。國民は自分達に眞に利便を齎らす新式交通機關の發達を望んで道路改良計畫の遂行に多大の期待を懸けて居るのである。